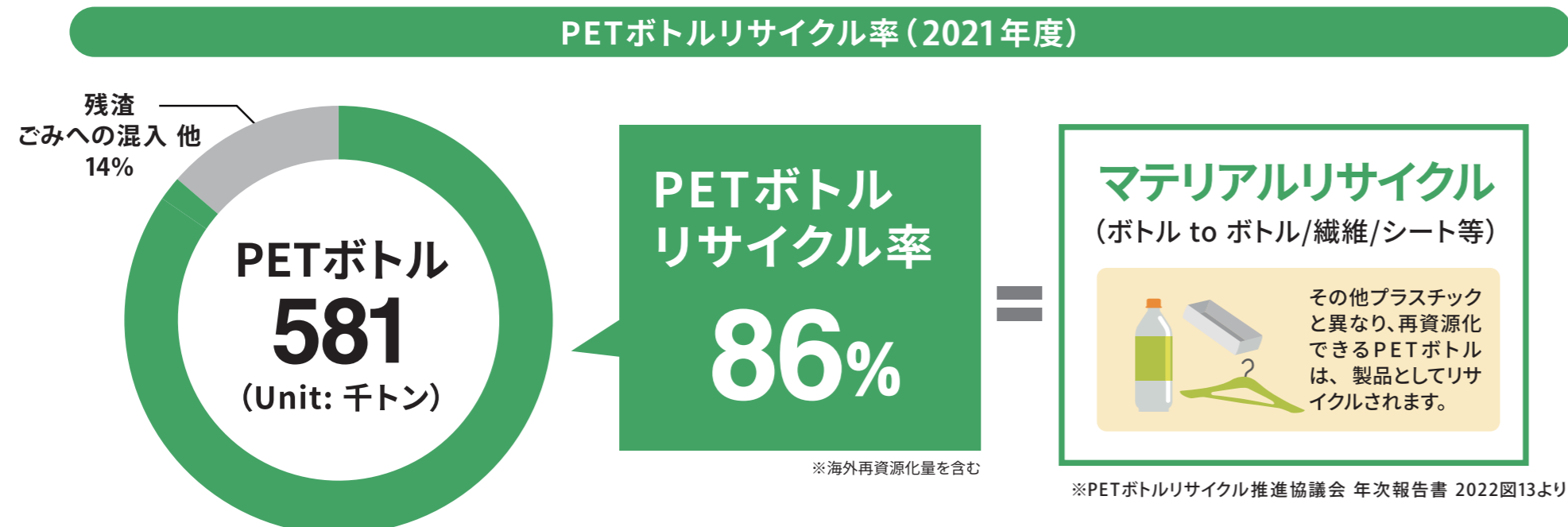




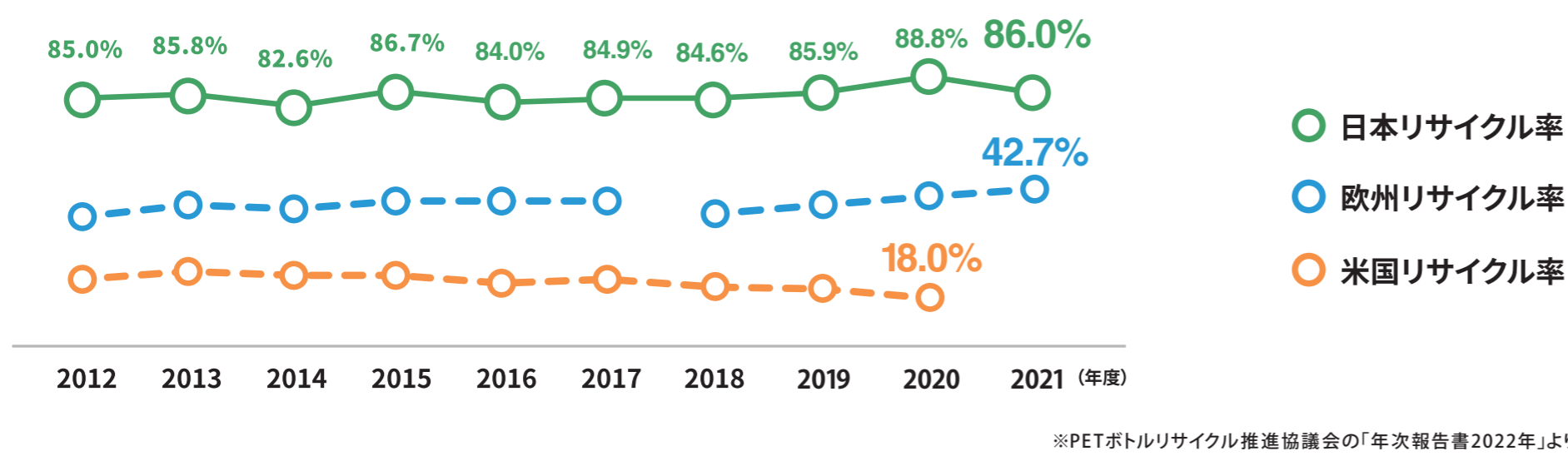
World Without Waste
(廃棄物ゼロ社会)

PETボトルリサイクルへの取り組み

日本のPETボトルリサイクルの現状



日米欧のPETボトルリサイクル率の推移



高い水準を誇る日本のPETボトルリサイクル

日本のPETボトルは、高い回収率に加え、2021年で販売量に対して、86%をリサイクルしており、欧米と比較しても、最高のリサイクル率を誇っています。また、その他のプラスチックのリサイクルと異なり、再資源化され、製品として使用される「マテリアルリサイクル」であることが特長です。

ボトル to ボトル (B to B) とは



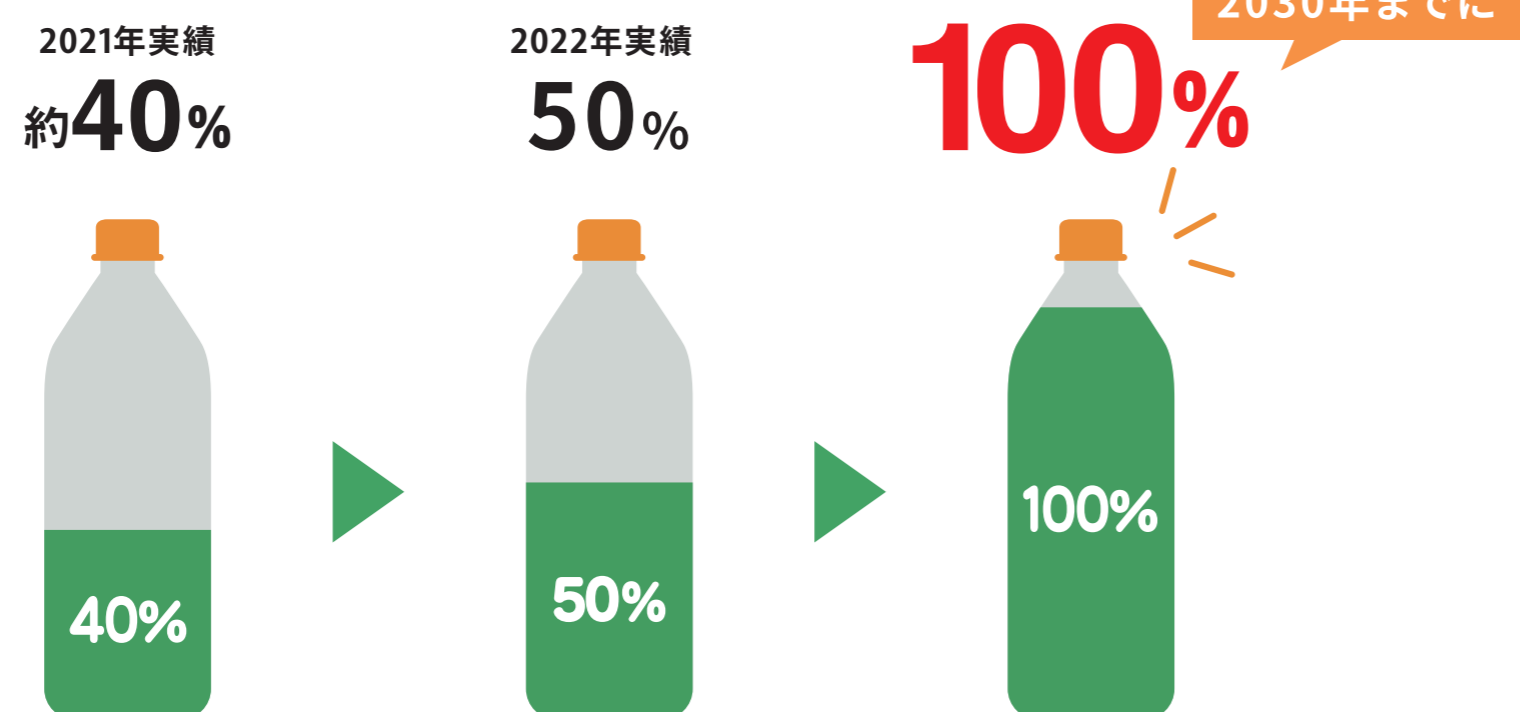
循環型リサイクルの“ボトル to ボトル”

回収したPETボトルを新しいPETボトルとしてリサイクルする”ボトル to ボトル”は、環境負荷の少ないリサイクル方法です。リサイクルされたPETボトルも、また回収後にPETボトルに再生することで、何度も繰り返し、リサイクルできる循環型リサイクルが構築できます。

2030年までに全ての容器をサステナブル素材へ切り替え



「容器の2030年ビジョン」 すべてのPETボトルを100%サステナブル素材に切替える



「廃棄物ゼロ」を目指して“ボトル to ボトル”を推進

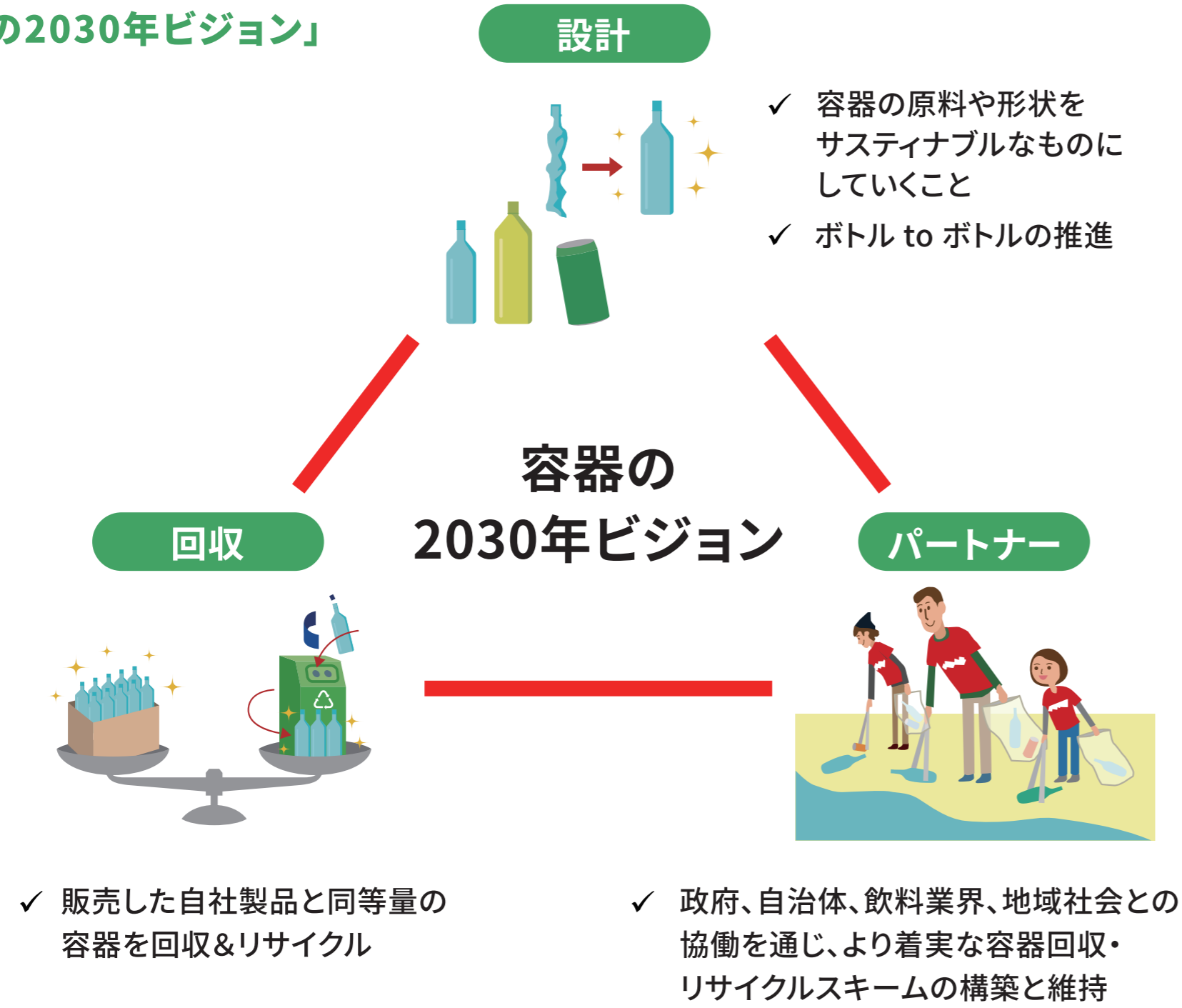
ここまでご紹介してきたように、PETボトルは利便性・衛生面・環境負荷の全てで極めて優れた容器で、ボトル to ボトルで、循環型リサイクルを実現することができます。コカ・コーラシステムでは、2030年までにすべてのPETボトルをリサイクルPET樹脂または植物性PET樹脂に切り替え、新規化石燃料使用ゼロを目指しています。



World Without Waste
(廃棄物ゼロ社会)

廃棄物ゼロ社会の実現に向けて

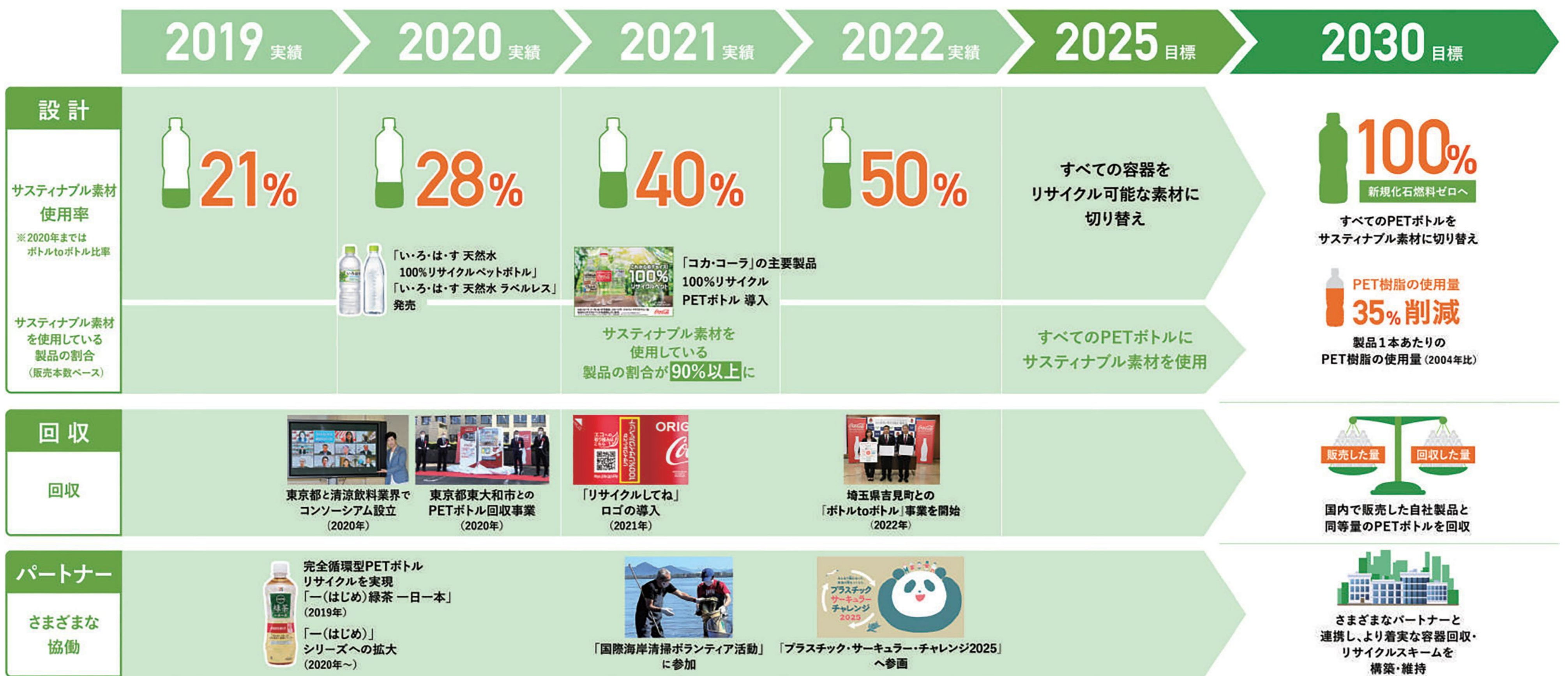
「容器の2030年ビジョン」



日本のコカ・コーラシステムが目指す環境目標「容器の2030年ビジョン」

日本のコカ・コーラシステムでは、グローバルビジョン「World Without Waste」(廃棄物ゼロ社会)に基づき、2018年1月、「設計」「回収」「パートナー」の3本の柱から成る「容器の2030年ビジョン」を設定。2019年7月12日には、従来の目標達成の前倒しを含む、新たな環境目標を発表しました。これはグローバル目標よりもさらに高い水準の日本のコカ・コーラシステム独自の目標です。

日本のコカ・コーラシステム「容器の2030年ビジョン(ロードマップ・実績)」2023年6月更新



これからは100%リサイクルペットへ!

100%が世界を変える!



100%リサイクルPETボトル(BtoB)に切り替わることで新しいエコの価値を伝達します。

PET樹脂の素材組成物を変更



リサイクルペットができるまで(メカニカルリサイクル)

